



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 CKD株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 6407 URL <https://www.ckd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥岡 克仁
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 竹澤 正 (TEL) 0568-74-1006
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	66,519	△17.1	6,062	△40.4	6,073	△40.6	3,961	△43.7
2023年3月期第2四半期	80,213	18.3	10,175	18.6	10,222	17.9	7,039	15.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 6,444百万円(△24.4%) 2023年3月期第2四半期 8,529百万円(38.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 59.36	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	105.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 203,808	百万円 123,053	% 60.4
2023年3月期	185,626	119,730	64.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 123,053百万円 2023年3月期 119,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 42.00	円 銭 —	円 銭 47.00	円 銭 89.00
2024年3月期	—	24.00			
2024年3月期(予想)			—	22.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,500	△16.9	11,400	△46.2	11,400	△46.2	7,550	△48.9	113.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	67,909,449株	2023年3月期	67,909,449株
2024年3月期2Q	1,171,923株	2023年3月期	1,186,036株
2024年3月期2Q	66,729,481株	2023年3月期2Q	66,682,348株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2023年11月10日に機関投資家・アナリスト向け説明会を電話会議にて開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
〔生産、受注及び販売の状況〕	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復が持続し、供給制約の緩和による自動車生産の増加がみられたものの、海外経済の減速を背景に輸出は伸び悩み、物価上昇など楽観視できない状況が続きました。

設備投資は、省力化・デジタル化に向けたソフトウェア投資は堅調に推移したものの、外需の低迷を受け製造業の生産用設備投資は減少しました。また、半導体メモリーの循環的な落ち込みを背景に在庫調整が長期化するなど、半導体設備投資の抑制が続きました。

海外経済では、インフレの長期化や欧米での金利引き上げにより、景気後退の懸念は継続しました。欧米では製造業の生産活動の弱さ、東南アジアでは世界経済の減速による輸出不振の影響が引き続きみられました。中国では工業生産の弱さなどから、製造業の設備投資に慎重な姿勢がみられました。

このような状況のもとで、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高66,519百万円（前年同四半期比17.1%減）、営業利益6,062百万円（前年同四半期比40.4%減）、経常利益6,073百万円（前年同四半期比40.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,961百万円（前年同四半期比43.7%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

産業機械では、リチウムイオン電池製造システムの売上高が増加したものの、自動包装システムでは、薬品向けの売上高が減少しました。

その結果、売上高は7,154百万円（前年同四半期比8.9%減）、セグメント利益は収益改善により、730百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

② 機器部門

国内市場では、環境対応車に関連した製造設備向け売上高は引き続き堅調に推移しました。一方、コロナ特需の反動によるパソコンやスマートフォン需要の減少、在庫調整の長期化を背景に半導体製造装置向け売上高が減少しました。

海外市場では、半導体市場の需要が減少した韓国や台湾、製造業で低迷が続いた欧米や中国、景気減速の影響を受けた東南アジアなどそれぞれの地域で売上高が減少しました。

その結果、売上高は59,364百万円（前年同四半期比18.0%減）、セグメント利益は売上高の減少などにより、7,634百万円（前年同四半期比35.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18,182百万円増加の203,808百万円となりました。これは主に、売上債権及び契約資産が減少したものの、現金及び預金、棚卸資産並びに有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ14,859百万円増加の80,755百万円となりました。これは主に、仕入債務及び未払賞与が減少したものの、借入金及び賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,322百万円増加の123,053百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ4.1ポイント減少の60.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ6,361百万円増加の33,015百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、3,713百万円（前年同四半期比42.2%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6,066百万円、減価償却費3,219百万円、賞与引当金の増加2,849百万円、売上債権及び契約資産の減少6,067百万円、前受金の増加1,259百万円による資金の増加、未払賞与の減少3,143百万円、棚卸資産の増加4,734百万円、仕入債務の減少5,179百万円、法人税等の支払額3,669百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、12,657百万円（前年同四半期比253.7%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12,946百万円による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、14,781百万円（前年同四半期は3,961百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入20,826百万円による資金の増加、長期借入金の返済による支出1,437百万円、配当金の支払額3,132百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済の見通しは、社会・経済活動の正常化が進展する一方、インフレの長期化や金利引き上げの影響、依然続くロシア・ウクライナ問題をはじめとする地政学リスクの高まりなどにより、下振れリスクが高く、景気回復は一進一退の状況にあると予想されます。

そのような中、当社グループを取り巻く事業環境は、製造業の自動化・省人化需要は底堅く推移することが見込まれるものの、グローバルにおける在庫調整などの半導体設備投資抑制の影響が期初の想定よりも長期化し、第3四半期以降も継続するとみております。

そして、本格的な需要回復は、2024年度以降にずれ込み、当期は厳しい事業環境が継続すると想定していることから、2023年5月12日に発表しました通期連結業績予想を下記のとおり下方修正します。

なお、2023年10月1日から2024年3月31日までの期間における為替レートは第1四半期決算発表時点から見直し、1米ドル130円から142円とします。

2024年3月期 通期 連結業績予想数値の修正

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 142,000	百万円 14,500	百万円 14,500	百万円 10,000
今回修正予想 (B)	132,500	11,400	11,400	7,550
増減額 (B - A)	△9,500	△3,100	△3,100	△2,450
増減率 (%)	△6.7	△21.4	△21.4	△24.5
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	159,457	21,170	21,181	14,788

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日（2023年11月10日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,568	34,270
受取手形、売掛金及び契約資産	30,167	23,626
電子記録債権	6,318	7,635
営業未収入金	241	240
商品及び製品	11,443	13,424
仕掛品	5,090	6,302
原材料及び貯蔵品	38,848	41,316
その他	2,430	1,769
貸倒引当金	△53	△52
流動資産合計	123,055	128,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,899	25,435
その他（純額）	24,432	35,743
有形固定資産合計	49,331	61,178
無形固定資産	1,524	1,739
投資その他の資産	11,714	12,355
固定資産合計	62,571	75,274
資産合計	185,626	203,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,017	18,327
電子記録債務	5,349	4,636
短期借入金	8,461	7,454
未払法人税等	3,696	1,834
賞与引当金	574	3,448
その他の引当金	438	666
その他	11,480	9,349
流動負債合計	52,018	45,718
固定負債		
長期借入金	9,203	29,810
その他の引当金	2	2
退職給付に係る負債	503	530
その他	4,168	4,693
固定負債合計	13,877	35,037
負債合計	65,895	80,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	16,548	16,573
利益剰余金	84,807	85,611
自己株式	△833	△824
株主資本合計	111,538	112,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,486	3,821
為替換算調整勘定	4,902	7,026
退職給付に係る調整累計額	△196	△171
その他の包括利益累計額合計	8,192	10,676
純資産合計	119,730	123,053
負債純資産合計	185,626	203,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	80,213	66,519
売上原価	57,175	47,972
売上総利益	23,037	18,546
販売費及び一般管理費	12,862	12,484
営業利益	10,175	6,062
営業外収益		
受取利息	33	53
受取配当金	127	159
為替差益	72	89
補助金収入	60	44
その他	165	170
営業外収益合計	459	517
営業外費用		
支払利息	150	266
デリバティブ評価損	93	50
その他	167	188
営業外費用合計	411	506
経常利益	10,222	6,073
特別利益		
段階取得に係る差益	62	-
投資有価証券売却益	-	4
その他	21	-
特別利益合計	83	4
特別損失		
固定資産圧縮損	21	-
投資有価証券評価損	-	10
その他	0	0
特別損失合計	21	11
税金等調整前四半期純利益	10,284	6,066
法人税、住民税及び事業税	3,364	1,864
法人税等調整額	△119	241
法人税等合計	3,244	2,105
四半期純利益	7,039	3,961
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,039	3,961

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	7,039	3,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△226	334
為替換算調整勘定	1,688	2,123
退職給付に係る調整額	27	25
その他の包括利益合計	1,490	2,483
四半期包括利益	8,529	6,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,529	6,444

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,284	6,066
減価償却費	3,148	3,219
段階取得に係る差損益 (△は益)	△62	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,536	2,849
未払賞与の増減額 (△は減少)	△3,129	△3,143
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△8	△1
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△1,377	6,067
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,061	△4,734
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,164	△5,179
前受金の増減額 (△は減少)	△412	1,259
その他	1,132	960
小計	10,214	7,364
利息及び配当金の受取額	160	215
利息の支払額	△143	△217
法人税等の支払額	△3,886	△3,669
法人税等の還付額	47	12
補助金の受取額	36	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,428	3,713
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△340	△1,049
定期預金の払戻による収入	538	1,847
有形固定資産の取得による支出	△3,593	△12,946
無形固定資産の取得による支出	△138	△381
投資有価証券の取得による支出	△124	△106
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	52	-
その他	27	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,578	△12,657
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	145	△243
長期借入れによる収入	270	20,826
長期借入金の返済による支出	△1,600	△1,437
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,595	△3,132
リース債務の返済による支出	△181	△1,231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,961	14,781
現金及び現金同等物に係る換算差額	437	523
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△675	6,361
現金及び現金同等物の期首残高	34,027	26,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,352	33,015

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,856	72,357	80,213	—	80,213
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	70	70	△70	—
計	7,856	72,427	80,283	△70	80,213
セグメント利益	674	11,778	12,452	△2,277	10,175

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,277百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,292百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,154	59,364	66,519	—	66,519
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	93	93	△93	—
計	7,154	59,458	66,612	△93	66,519
セグメント利益	730	7,634	8,365	△2,302	6,062

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,302百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,318百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	9,788	+34.8
機 器 部 門	60,346	△17.9
合 計	70,135	△13.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	11,236	+21.7	20,460	+42.2

- (注) 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	7,154	△8.9
機 器 部 門	59,364	△18.0
合 計	66,519	△17.1

- (注) セグメント間取引については、相殺消去しております。